

J R 荘原駅の整備について

J R 荘原駅の駅舎について、J R 西日本米子支社と協議を行った結果、下記のとおり駅舎を整備することとしましたので報告します。

記

1 整備方針

待合室とトイレが一体となった駅舎を市で整備する。

J R から提案があった待合スペースでは狭あいであるため、利用者の状況や地元要望を勘案して現行程度のスペースを確保する。

トイレについては、撤去により乗降客の利便性の低下を招くこと、荘原駅を除く市内のJ R 無人駅すべてに市が設置していることから整備する。

財源については、J R から一定額の負担を予定している。

- ・整備建物 延べ面積58.0㎡程度
- ・概算事業費 3,000万円

2 経過

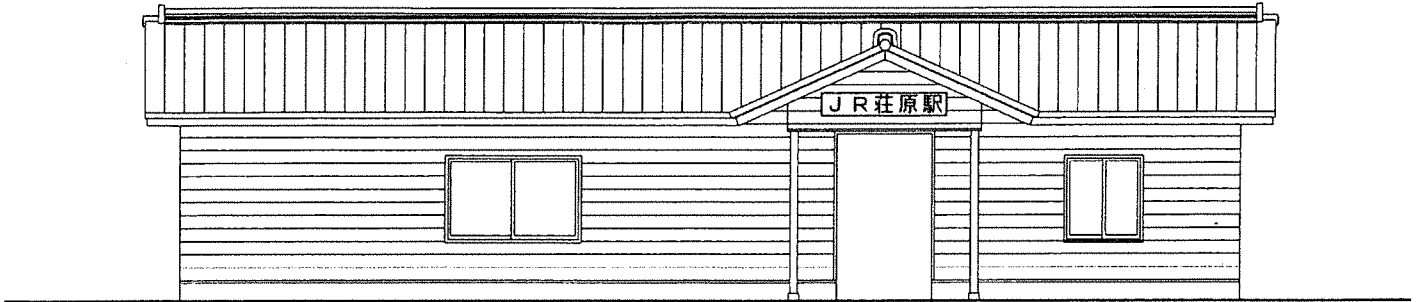
- ・8月9日 J R から荘原駅の改修案の提示
[内容] 現行駅舎の解体、待合スペースの設置(15㎡)、
トイレ及びホーム待合室の撤去
- ・9月7日 総務委員会でJ R からの提案について説明
- ・9月27日 全員協議会でJ R からの提案について説明
- ・10月3日 荘原地区自治協会及び湯の川温泉旅館組合が市へ要望
要旨：当面、現行駅舎を維持して欲しい
- ・10月9日 J R へ地元の意向を伝達
- ・10月18日 荘原地区自治協会及び湯の川温泉旅館組合と協議
- ・11月13日 荘原地区自治協会及び湯の川温泉旅館組合と協議

3 スケジュール

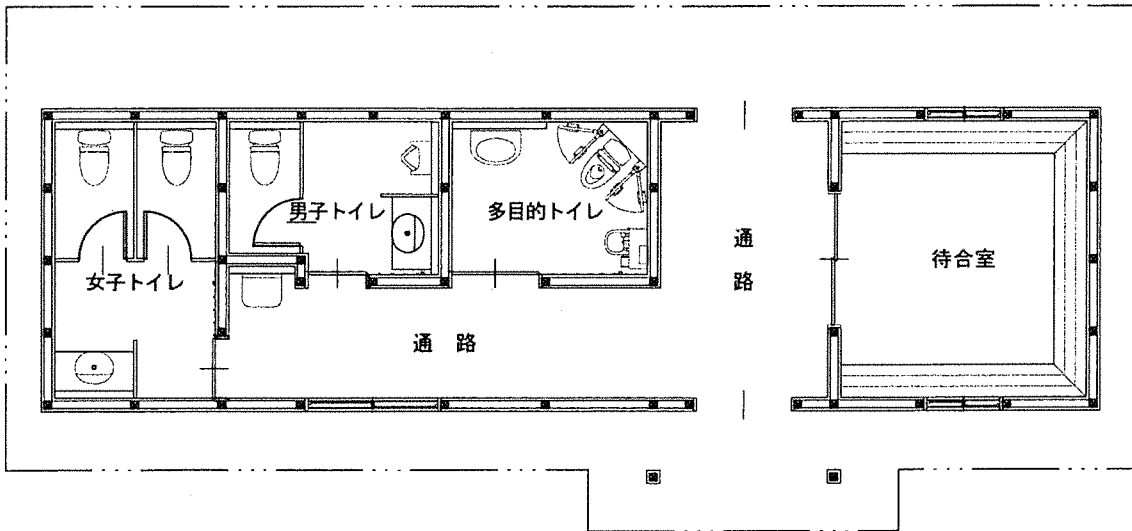
平成30年度 実施設計

平成31年度 駅舎整備(工期 平成31年5月～9月予定)

整備イメージ図



北立面図



平面図